

令和3年11月5日（金）

〔資料提供先〕 合同庁舎記者クラブ 広島県政記者クラブ 三原新聞記者クラブ
尾道市記者クラブ 福山市政記者クラブ 中国地方建設記者クラブ



きはら 木原道路開通6ヶ月後の状況をお知らせします

《三原～尾道間の交通が円滑になりました》

令和3年3月14日（日）に開通した木原道路について、開通後6ヶ月が経過した時点のデータから整備効果をとりとめましたので、お知らせします。

<概要>

■旅行速度の向上

- ・木原道路に並行する国道2号の旅行速度が向上
- ・木原道路に並行する国道2号で発生していた渋滞が緩和
- ・三原市～尾道市間の所要時間が短縮

■救急搬送の支援

- ・三次救急医療機関への救急搬送時間の短縮
- ・救急搬送における国道2号の信頼性の向上

■ダブルネットワークの発揮

- ・山陽自動車道通行止め時に円滑な交通を確保

■【参考資料】交通量

- ・現道利用者の約6割が木原道路へ転換



(問い合わせ先)

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 岡本 慎二 (おかもと しんじ)

(担当) 調査設計第二課長 新枝 秀樹 (あたらし ひでき)

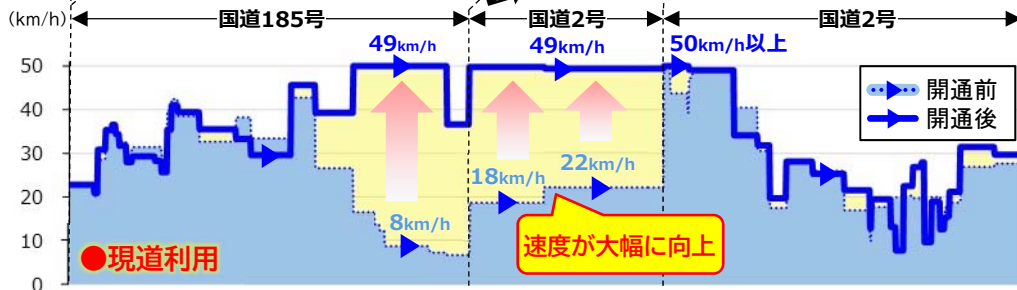
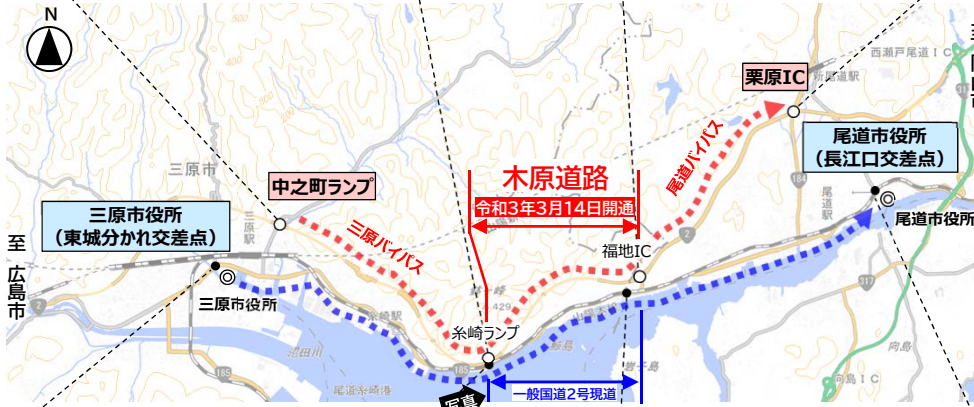
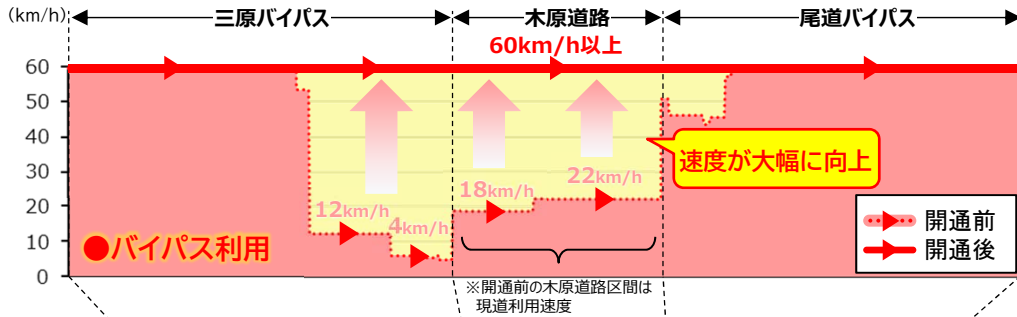
TEL : (084) 923-2510 (ダイヤルイン) FAX : (084) 923-2558

福山河川国道事務所ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

三原～尾道間の移動が円滑になりました！

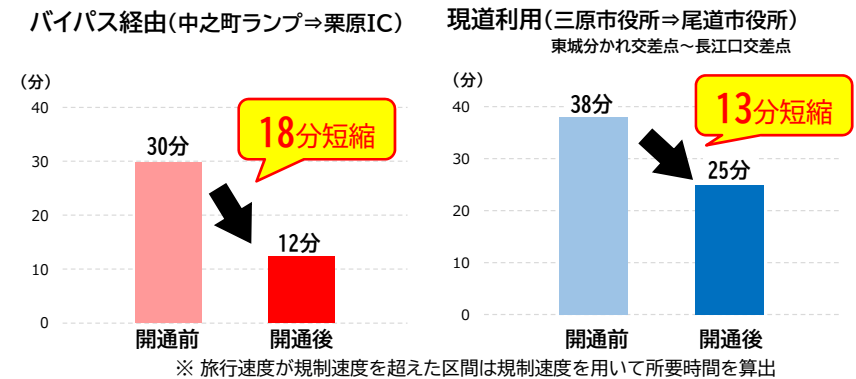
- 木原道路に並行する国道2号では、朝方を中心に福地ICや糸崎ランプ周辺で旅行速度の低下が発生していましたが、**木原道路の開通により旅行速度が向上し、渋滞緩和**が図られています。
- 所要時間は、**バイパス経由（中之町ランプ⇒栗原IC）で18分短縮**、**現道利用（三原市役所⇒尾道市役所）で13分短縮**しました。

【旅行速度の変化】※朝ピーク7時台(上り方向)



資料：ETC2.0プローブデータ(開通前)R2年10月平日平均、(開通後)R3年9月平日平均 [速報値]
 ※旅行速度については小数点以下を切り捨て

【所要時間の変化】※朝ピーク7時台(上り方向)



【木原道路開通前後の並行現道の交通状況】



開通前(R3年3月11日)



開通後(R3年10月15日)

◆利用者の声



三原市 男性

●三原から尾道へ通勤しているが、非常にスムーズになった。**木原道路を通っても現道を通っても15分程度は短縮**されており、渋滞のイライラから解消された。朝の通勤時間帯なのでその**15分短縮の効果はとて大きい**。(R3.9 住民ヒアリング結果)



製造企業

●木原道路の開通により、三原市内の渋滞影響がなくなり、開通以前と比較して**定時性の確保が図れて、納入がスムーズ**に行うことが出来るようになった。(R3.9 製造企業ヒアリング結果)

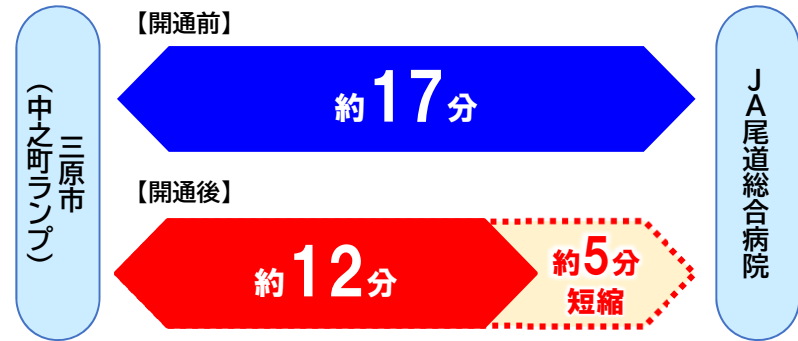
スムーズな救急搬送に寄与しています！

○三原市消防本部管轄内からJA尾道総合病院（三次救急医療機関）への救急搬送は年間約306件（1日1件程度）搬送されています。
 ○木原道路の開通により、三原市（中之町ランプ）からJA尾道総合病院への搬送時間が約5分短縮だけでなく、救急搬送における国道2号の信頼性の向上に寄与しています。

【三原市消防本部管轄内からJA尾道総合病院への主な搬送ルート】

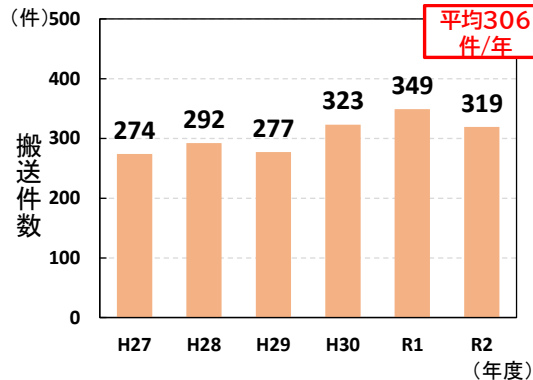


【木原道路開通による救急搬送時間の変化】



※三原市消防本部の救急車両でのプローブデータによる実測結果および搬送実績より集計
 開通前:R3.1.14~R3.3.14
 開通後:R3.3.15~R3.4.30

【三原市消防本部管轄内からJA尾道総合病院への搬送件数の推移】



資料:R3.4 三原市消防本部ヒアリング結果

【木原道路を利用する救急車両】



撮影日:R3.8.2

◆関係者の声

- 木原道路の開通後は、尾道市方面の医療機関までのアクセスがスムーズとなり、搬送時間の短縮に大きな効果があります。
- 木原道路の開通前は、救急搬送のほとんどは木原道路並行の国道2号を通行しており、事故等で通行止めが生じてしまった場合、他に並行した代替路が無いため、木原地区への救急活動が出来なくなるという、まさしく「生命線」となる区間です。



三原市消防本部

(R3.9 三原市消防本部ヒアリング結果)

高速道路のダブルネットワークとして機能しています！

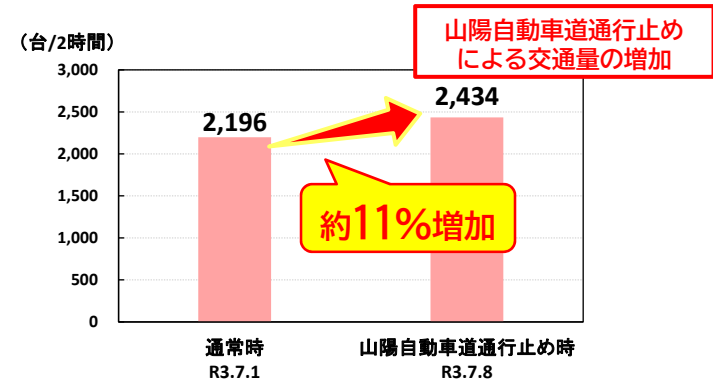
- 令和3年7月8日、大雨の影響により約14時間にわたって山陽自動車道の全面通行止めが発生し、並行する木原道路の交通量が約11%増加しました。
- 木原道路の開通により、木原道路開通前の山陽自動車道通行止め時に発生していた、三原バイパスにおける大幅な旅行速度の低下は発生せず、**高速道路のダブルネットワークとして代替機能を発揮**しました。

【通常時及び山陽自動車道通行止め時における旅行速度の変化】

※朝ピーク6,7時台(上り方向)



【山陽自動車道通行止め時による木原道路の交通量の変化】※朝ピーク6,7時台



上り下り合計(6,7時台)

	(台/2時間)		
	全車	大型	小型
通常時	2,196	1,372	824
山陽自動車道通行止め時	2,434	1,810	624
増減台数 (増減率)	+238 (+11%)	+438 (+32%)	-200 (-24%)

資料:トラカンデータ(福地)

■利用者の声



製造企業

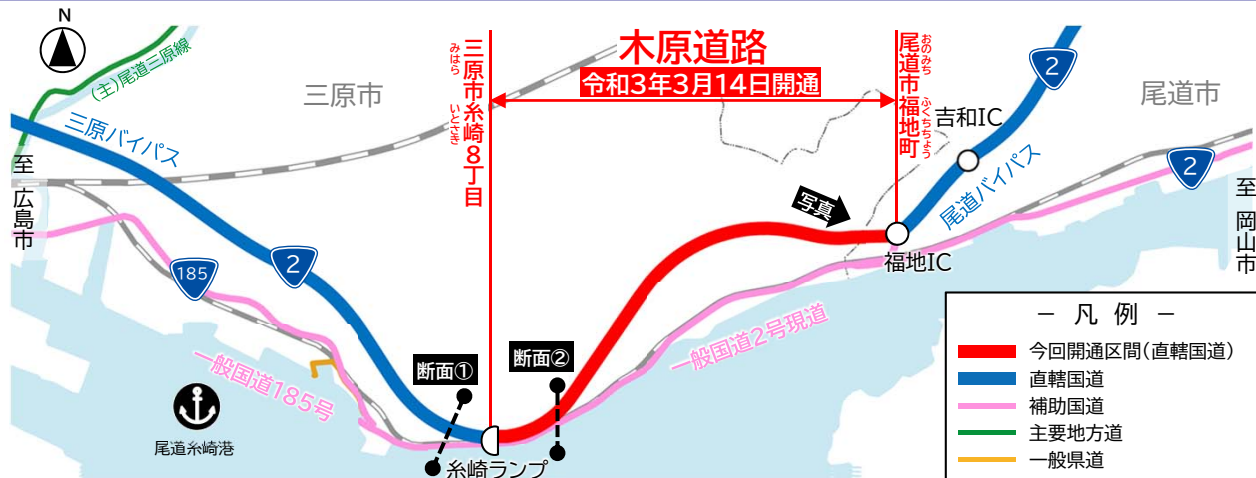
- 木原道路開通前は、山陽自動車道が通行止めになった時に、三原市内で渋滞が発生していた。
- 木原道路が開通してからは、山陽自動車道が通行止めになった際でも、三原市内において渋滞は発生しておらず、スムーズに運行することができた。

(R3.9 製造企業ヒアリング結果)

資料:ETCプローブデータ 開通前[通常時:R2.7.1 山陽自動車道通行止め時:R2.7.8]、開通後[通常時:R3.7.1 山陽自動車道通行止め時:R3.7.8]
 ※旅行速度については小数点以下を切り捨て

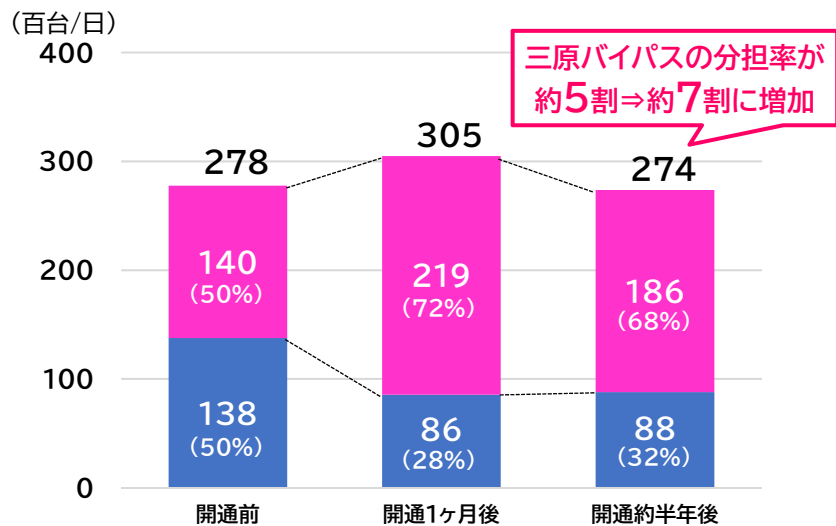
【参考資料】交通量

- 木原道路の開通約半年後の交通量は、**約17,400台/日**で並行現道を合わせた断面交通量の**約6割**を占めています。一方、並行する国道2号の交通量は約9,700台/日で、開通前に比べ**約17,600台/日減少**しました。
- 隣接する三原バイパスでも、バイパスの分担率が**約5割から約7割に増加**しました。

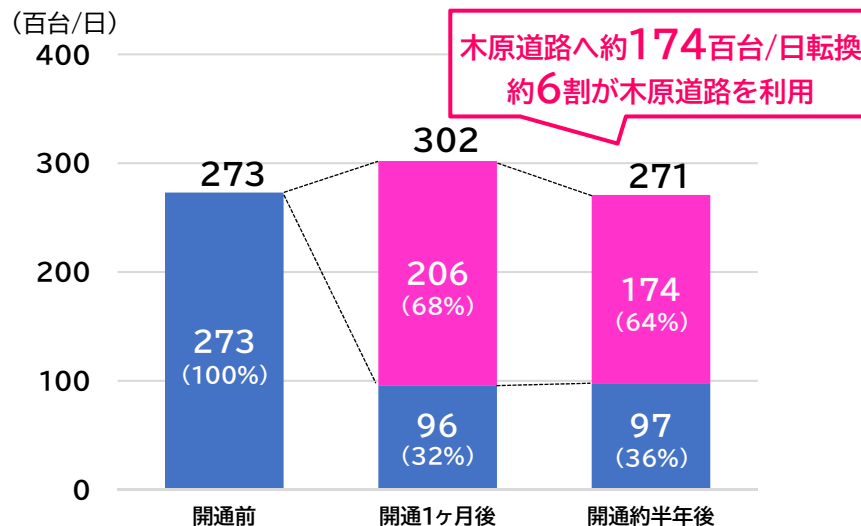


【開通前後における交通量の変化】

断面① 三原バイパス＋一般国道185号



断面② 木原道路＋一般国道2号現道



【交通量】開通前：R3.3.3(水)、開通1カ月後：R3.4.20(火)、開通約半年後：R3.10.14(木)